



池田会長（左）らが作った3畳敷きベッド

畳3枚分のベッド

建築組合青年部が支援学校に

○…十日町建築組合青年部（池田真吾会長・会員30人）は5日、障がいを持つ児童生徒が通う市立ふれあいの丘支援学校（小網輝夫校長・児童20人・生徒24人）に、無償で制作した畳3枚分の簡易ベッドを運び込んだ。また子どもたちは会員の指導でスノコ作りやカナ

ナがけも体験した。
○…車椅子利用の子どもたちは時々体を伸ばす必要がある。先月設立した同校学校後援会が材料費を出し、同青年部が学校と大きさ高さ等を打ち合わせして会員が3日ばかりで作ったもの。池田会長は「木工教室での貢献はあったが、制作作業ボランティアとして携われたのはありがたい。また声が掛かれは喜んで参加したい」と笑顔を見せ、小網校長は「これまで床にマットを敷いていたが、このベッドは頑丈で高さもあり職員の腰への負担も減る。車椅子への乗り降りも楽になり本当にありがたい」と感謝した。

令和元年12月14日付 妻有新聞 紙面より掲載